

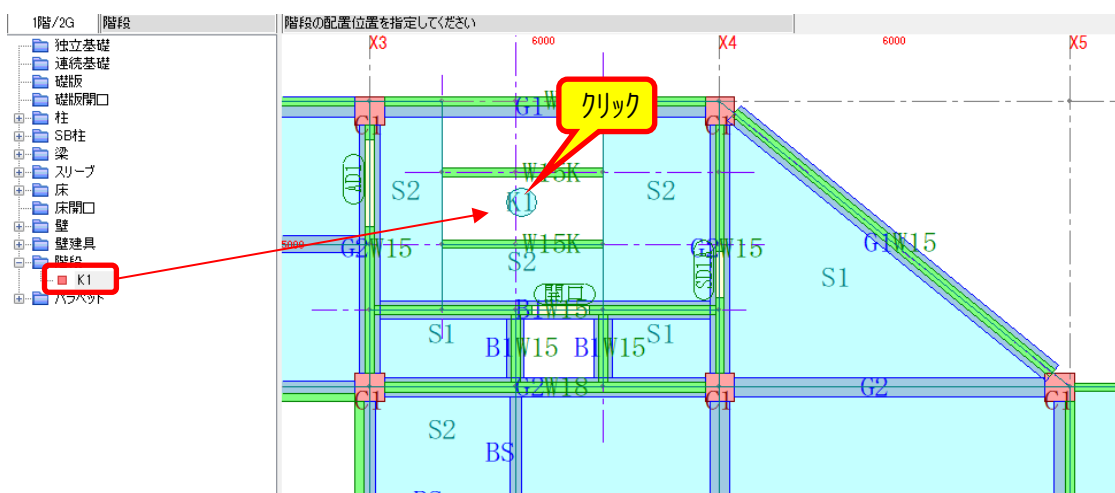
階段の数量が集計されない

伏図で階段を配置したにも関わらず、集計表には階段の数量が計上されないと指摘されることがあります。

これは、伏図で階段の記号を配置しただけで、その詳細情報を入力していないために発生します。

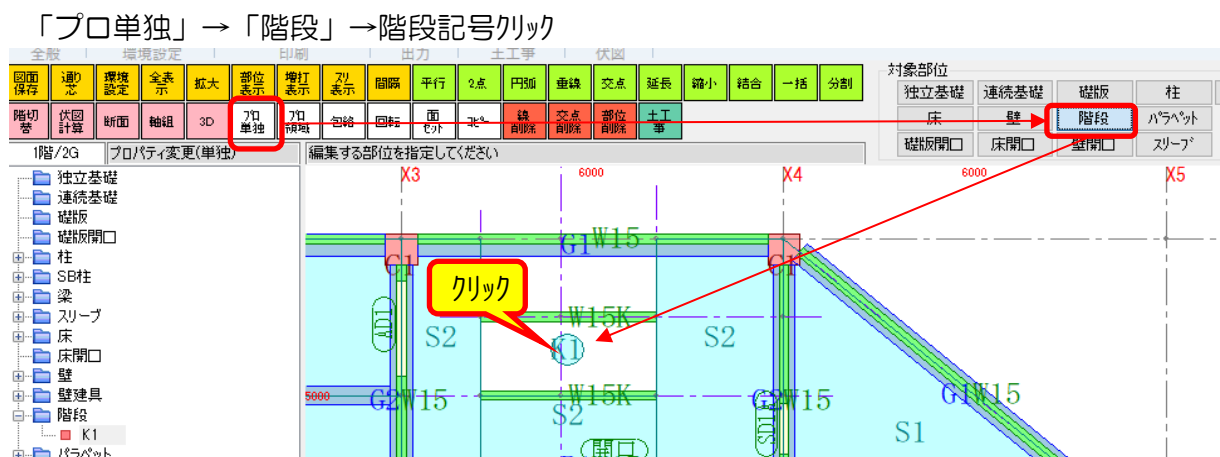
【階段の拾い方】

1. 階段記号を選択し、伏図上の階段を配置したい場所をクリックします。



※これだけでは、階段は拾ったことにはなりません。

2. 階段のプロパティ画面を開きます。



3. 段スラブの情報を入力します。

段スラブ							
接続指示	水平長さ	高さ	巾	壁厚左	壁厚右	段数	個所
▼							
▼							
▼							

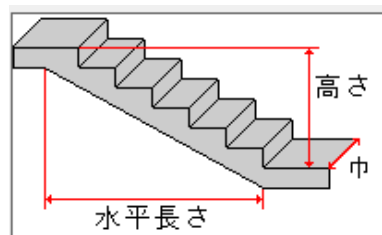
①接続指示

- 二辺固定
段スラブの両側が壁に接続している。
- 一辺固定
段スラブの1辺のみ壁に接続している。
- 接続なし
段スラブの両側が壁に接続していない。

※段筋の定着を2か所みるか、1か所みるか、全く見ないかの違いとなります。

②水平長さ・高さ・巾

右図の通りの寸法を入力します。



③壁厚左・壁厚右

段スラブの左側及び右側が壁と接続するとき、その壁厚を入力することにより、段筋の長さが、入力した壁厚分長くなります。
壁厚を加算する必要がない場合は入力不要です。

④段数

入力しなくても、(高さ÷蹴上)で自動算出されますが、入力すると入力値が優先されます。

⑤個所

同じサイズの段スラブが折り返しで2つある時は、2と入力します。

4. 踊り場スラブの情報を入力します。

短辺接続	短辺	長辺接続	長辺	止型枠長さ	個所
▼		▼			
▼		▼			
▼		▼			
▼		▼			

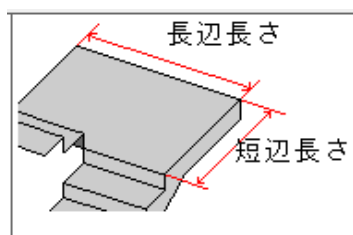
①短辺接続

- 二辺固定
踊り場スラブの短辺が2つとも壁に接続。
- 一辺固定
踊り場スラブの短辺のどちらか一方のみ壁に接続している。
- 接続なし
踊り場スラブの短辺がどちらも壁に接続していない。

※短辺主筋の定着を2か所みるか、1か所みるか、全く見ないかの違いとなります。

②短辺

右図の通りの寸法を入力します。



③長辺接続

短辺接続に同じ。

④長辺

短辺に同じ。

⑤止型枠長さ

踊り場スラブの小口型枠を算出したい時にその長さを入力します。
短辺接続や長辺接続の入力内容から自動判断はされません。

⑥個所

同じサイズの踊り場スラブが複数ある時、その個所数を入力します。

5. OKボタンで閉じます。

(入力例)

階段プロパティ ×

階段記号 K1 ID 1

拾い情報 雑入力

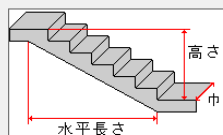
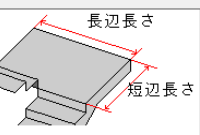
段スラブ

接続指示	水平長さ	高さ	巾	壁厚左	壁厚右	段数	個所
二辺固定	2750	2000	1250				2
▼							
▼							
▼							

踊り場スラブ

短辺接続	短辺	長辺接続	長辺	止型枠長さ	個所
二辺固定	1000	二辺固定	2575		1
▼		▼			
▼		▼			
▼		▼			

短辺接続:短辺長さ方向に対しての接続状態
長辺接続:長辺長さ方向に対しての接続状態

集計階 躯体区分

選択数: 1 OK キャンセル

後は、「伏図計算」→「伏図取込」→「計算」により、階段の数量が集計表に計上されるようになります。